

若い頃、プロのオペラ歌手だったんですね。今94歳です。小さい頃からヴェルディとかプッチーニを歌っているのは聴いていました。私自身、オペラを初めて見に行ったのは高校生くらいですね。

玉木 オペラとの付き合いはナチュラルに若い時からあったんですね。

佐渡 これも縁ですね。何人もの有名な指揮者に弟子入りを断られて。

玉木 (笑)

佐渡 唯一、練習においでよと言われて行ったのが関西二期会。大学1年の時、鈴木敬介さんの演出で「魔笛」でした。そうしたら鈴木先生に“君、背が高いな。舞台に出てくれないか”と言われて、僧侶の役をやったんですよ。一番前にずーっと立っているだけのはずなんですが、小さい頃から特別な音楽教育を受けていたので譜面はすぐ読めたし、少年合唱団で合唱もやっていたので凄い大きな声でバンバン歌っちゃった。で、“どの大学で歌を勉強してるの？”って聞かれたので“指揮者になりたいんです”と答えたら、“副指揮者でおいで”と。それが一番初めて、関西二期会は6年くらいいました。日本の色々な指揮者のアシスタントをしました。

玉木 それでオペラの経験も積まれたってことですね。

佐渡 ウィーン時代には、自由時間があったら国立歌劇場へ行って、チケットの列に並んで天井桟敷で見っていましたね。プッチーニから、現代作品まで、もちろん「ラ・ボエーム」も。とにかく、見倒しましたよ。

玉木 うらやましいなあ。

佐渡 チケット代が300円ですからね。もう30年くらい前です。

玉木 私はオペラが好きって中々言えなくてね。スポーツ界では野球の江本孟紀さんやJリーグ初代チェアマンだった川淵さんなど、オペラファンが割といるんですよ。江本さんに“なぜオペラが好きと言わないの？”と聞いたら“ますます変人って思われるから”と(笑)。オペラは女性が高い声を張り上げたりっていう先入観があるじゃないですか。もちろん佐渡さんにはそれはなかった？

佐渡 いやいや、ありますよ。今も自分でやりながら、なんでこんなでっかい声で「アイラブユー」っていうんやろって(笑)。ただ、音楽の魅力に加えて、人の生の声が直接2000人の観客にグサツとくるのがオペラの醍醐味ですからね。

玉木 なるほど。

佐渡 日本のオペラの歴史はまだ浅くて、劇場にオペラを観に行くというのが昔の“ピフテキ食へに行く”みたいなところがありましたよね。ちょっと特別というか、そのような先入観があったのが、少しずつ変わってきた。なぜかという、やはりオペラは面白いんです。オペラは、歌、オーケストラ、お芝居、そして、素晴らしい装置や衣裳があり、まさに総合芸術ですよ。それこそ、プッチーニっていう人はお客さんの心理というか、そういうものをよく知って、劇場を愛して作品が作られているなと思いますね。

玉木 オペラには観客を喜ばす要素が思いっきり詰まっています。名古屋でオペラ講座を15年やっていますが、こんな面白いもの見ないと損やと。悔しいのは、私に関東に住んでいて西宮まで遠いこと。兵庫の方が本当に羨ましい。毎年夏になると、そんな風に思っています。

ただメロディが美しいだけじゃない

玉木 それでは最後に一言、「ラ・ボエーム」に対する意気込みを。

佐渡 2020年に計画をし、それを断念し、去年は日本人のキャストによる「メリー・ウィドウ」でコロナ禍の中、試行錯誤しながら何とか最終公演までこぎつけてという成果があっ



た上で、2年前に“兵庫でまた会おうね”と言っていたメンバー、海外の若い彼ら、そして日本人の素晴らしい歌手が揃います。主要キャストだけではなく、アンサンブルもとても重要ですし、それぞれ、ものすごくみんなモチベーションが高い状態で、感染予防にも十分注意しながらこの公演を迎えることになると思います。

プッチーニがオーケストラ、そして歌手たちに与えているものというのは、本当に天才の証明だと思います。ただメロディが美しい、リズムが何か人に刺激を与える、そんなものではないです。繰り返しになりますが、湿度、寒さ、温度、人の感情、喜び、切なさ…お芝居にしたらとても短いですが、オペラになると長くなる理由というのは、プッチーニの手腕によって、それらが何倍にも何倍にも音楽で表現されているからです。本当に素晴らしいオペラです。私自身にとっても大きな挑戦です。

玉木 私も、ものすごく期待しています。もしも「ラ・ボエーム」に日本語の良いタイトルがついていたら、たぶん「椿姫」よりも「蝶々夫人」よりも人気が出たんじゃないかって思ってるんです。「ラ・ボエーム」というのは中森明菜さんやシャルル・アズナブルさんの歌にもあるんですけどね。

佐渡 日本語にするならどんなタイトル？

玉木 …(笑)

佐渡 そこまで言うなら何かあるのかと思った(笑)。絶対長くなる。「若い芸術家の自由奔放な日々」とか。それはつまらないな。絶対売れへん(笑)。

玉木 えっとねえ…考えてくれればよかった(笑)。皆さん、考えてください(笑)。